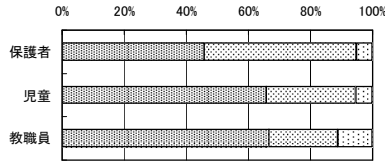


☑ 4-そう思う ☑ 3-どちらかといえば、そう思う ☑ 2-どちらかといえば、そう思わない ☐ 1-そう思わない

学校教育目標

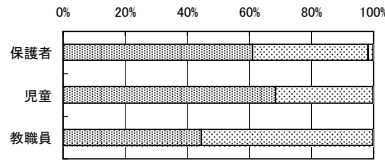
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



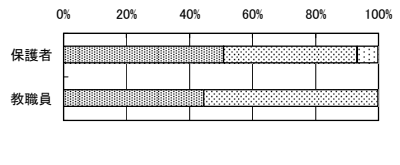
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

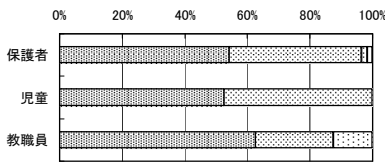


【学校から】 学校の教育目標や教育方針を学校便りや諸案内、オリジナルソング等で発信しているところであるが、浸透したとは言えない。機会ある毎に丁寧に伝えていきたい。質問2で「どちらかといえば、そう思わない」と答えた保護者が1人いることをしっかりと心に留め、保護者一人一人の願いを感受し、子ども一人一人に寄り添い、学習面・生活面両面からのきめ細やかな支援をしていきたい。質問3については、ここ1・2年職員の入れ替えが大きかったので、何事もまず共通理解を図っていかねばならない。

教科指導

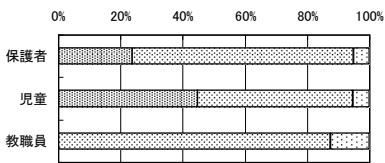
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

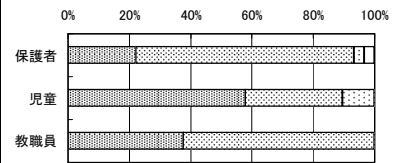


【学校から】 質問4:授業づくりの工夫で「そう思う」については、昨年度に比べると、教職員の数値は40%近くアップしているのに、保護者の数値が10%（一昨年度より20%）・児童の評価の数値が20%ダウンしていることを重く受け止めなければならない。対話と実感を核にした、一人一人の瞳が輝くような授業改善に努めなければならない。全職員で力を合わせ、小規模校ならではの工夫を凝らしていきたい。

総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

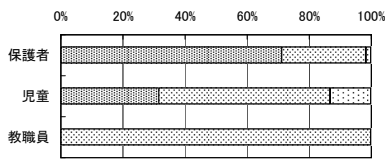


【学校から】 昨年度に比べ、「そう思う」と答えた保護者が25%ダウンした。通信や掲示の工夫・ミニ発表会を企画する等、子どもたちの言葉や姿で、取組の内容や成果が見えるよう工夫する。

道徳教育 心の教育

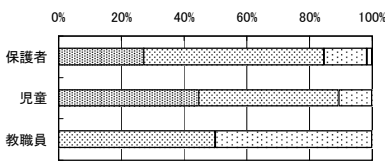
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にす心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

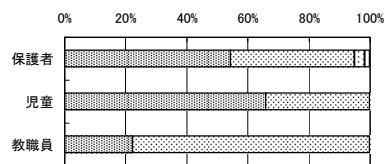


【学校から】 今年度より「心の教育」の指定を受け、「心と行動の両軸から道徳性を高める」ことに取り組んでいる。保護者にも「心の教育」を大切にしている姿勢は伝わっているようだ。しかし、教職員の数値が大変下がっている。「道徳の時間」や「特別活動」の工夫や1時間1時間の積み上げの重要性を再認識しなければならない。職員の迷いや疑問等も整理し、一方向に向かって研究を深めていきたい。あいさつについては、引き続き日常指導と共に家庭との連携を図っていく必要がある。

人権教育

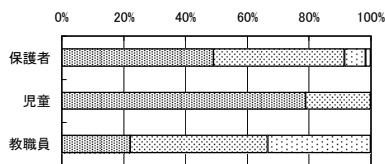
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

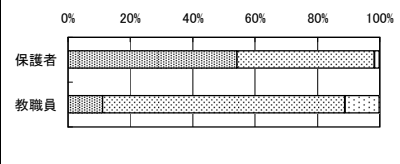


【学校から】 質問9については、昨年度から教職員の数値が低いままである。人権教育研修や教育相談の充実とともに、教職員の共通理解に力を入れていきたい。また、保護者や児童の思いを温かく受けとめ、「いのち・言葉大切にす」心安らぐ場所としての学級づくり・学校づくりにさらに努めていく。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

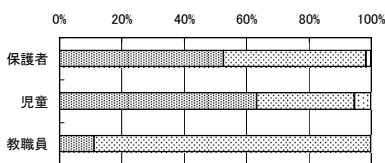


【学校から】 小規模校のメリットを生かし、個に合った教育を心がけている。しかし、昨年に引き続き教職員の数値が更にダウンした。機会ある毎に特別支援教育研修の場を設け、共通理解を図らなければならない。

生徒指導 教育相談

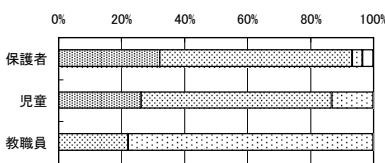
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



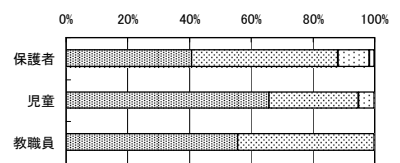
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

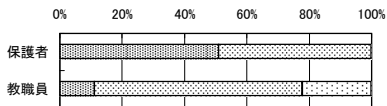


【学校から】 どの質問にも、保護者に「そう思わない」という答えがあった。「いじめや問題行動への対応」や「規範意識」に関しては、不安や不満を感じている人が増えた。子ども一人一人の姿を通して、学校に対する信頼感を高めねばならない。規範意識については、教師の危機感が高い。中学校の生徒指導を念頭に置き、保護者・児童の理解を得ながら、指導の徹底を図らねばならない。アンテナを高くし、職員が一丸となって、細やかで具体的な指導の積み上げを心がける。

健康教育 安全

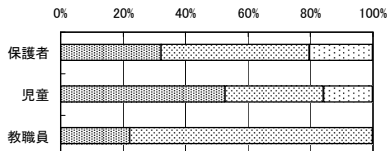
15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

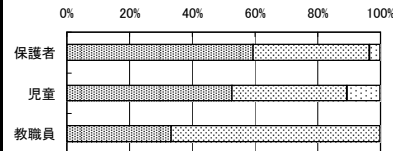


【学校から】 以前より、校区の通学距離が大変短い、肥満傾向の子どもの多い等、体力向上は重大な課題であった。今年度は体力向上実践校として、始業前の「すこやかチャレンジ」や縦割り班活動と運動した全校体育等に力を入れた。結果、秋の体カテストで大きな成果を実感、保護者や子どもたちにも報告したところである。教職員の評価が低いのは、意識した結果と思われる。とび出しによる交通事故や自転車の接触等があった。さらに地域と連携し交通事故防止に努めた。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

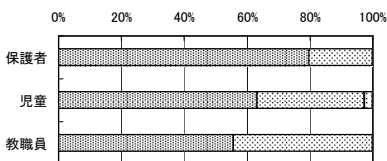


【学校から】 昨年に続いて全体的に数値が下がってきている。「特別活動は、道徳教育の土壌作りという共通認識を深め、子どもたちの主体的な活動に繋がるような更なる創意工夫を図らねばならない。行事の精選とともに内容充実を図る。

学校環境

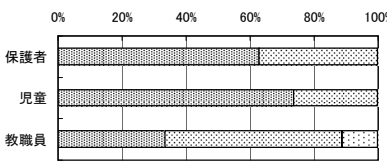
18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

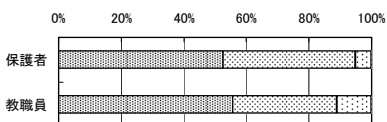


【学校から】 保護者・児童の評価は概ね良好である。変化のある環境と安定した環境の両面から計画的に推進してきた。美しい花壇や掲示物が伝統として根付くためにも、今後、子どもたちが主体となった学校環境づくりを推し進める必要がある。安全については「これで大丈夫」ということはない。危機意識を常にもち、安全点検等を徹底したい。

情報の公開・発信

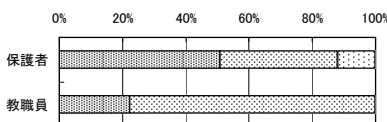
20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

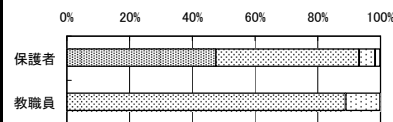


【学校から】 行事や学校公開日等のお知らせは大体1ヶ月前にはしているが、参加が厳しい家庭がある。仕事の関係等でなかなか調整がつかない家庭事情もある。電話や訪問等で繋がりを作っていったり、定期的に発行する学校便りや学級通信を工夫したりしていきたい。また、「おうちのひとのキャッチボール」等で、学校での学びや子どもたちの様子を伝えることや、ふれあいサロン等地域との交流も継続していきたい。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

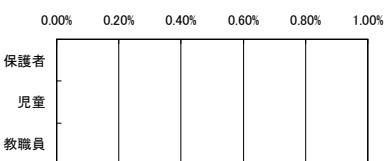


【学校から】 教職員の評価が大幅ダウンした（「そう思う」の評価が0%）。学校・家庭・地域社会の役割と責任を明確にし、それぞれの相互補充をしながら、信頼関係のある連携に努めねばならない。また、連携を仕組んでいくのも大事である。

(学校独自)

23 0

0

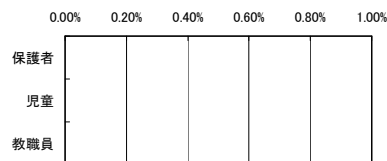


【学校から】

(学校独自)

24 0

0

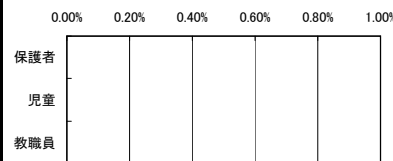


【学校から】

(学校独自)

25 0

0



【学校から】

来年度の具体的な取り組みについて

- ・教職員間、保護者・地域との共通理解を深め、連携活動を広げる工夫をしなければならない。
- ・「心と行動」の両軸に視点を当てた道徳教育の充実のため、「道徳の時間」と「特別活動」の確かな積み上げを図る。
- ・協力体制を強め、日々の授業改善を進め、子どもの姿を通して、学校に対する信頼感を高める。
- ・瞳を輝かせ、生き生きと語り合うような「対話と実感」を大切に授業づくりに、学校が一体となって取り組む。
- ・新学習指導要領スタートに対応するため、具体的な内容まで踏み込んだ行事等の精選と質の高い教育を推進する。
- ・小規模校のよさをフルに生かし、さらに児童一人一人を大切に教育活動を推進する。
- ・本年度から継続して、朝の「すこやかチャレンジ」、合同体育、全校体育、縦割り遊び等の工夫を凝らし、さらに体力を高める。

学校関係者評価

・年数回の学校評議員会や学校行事参加だけでは全ての項目の学校評価は難しいが、音楽会等での頑張る姿、掲示等の学びの足跡、家庭や地域での子どもたちの会話の様子、PTA活動の様子から、小規模校のよさを生かした温かい教育が推進されていることがうかがわれる。今後も、様々な体験活動を工夫する中で、心豊かに育ってほしい。